

施策評価シート(令和3年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0205	政策名	福祉の充実	施策主管課	長寿福祉課	課長名	佐藤 ひとみ
------	------	-----	-------	-------	-------	-----	--------

政策の目指す姿 慣れ親しんだ地域で、共に支え合い、安心していきいきと暮らしています

施策No	02	施策名	高齢者福祉の充実	関係課名	
------	----	-----	----------	------	--

施策の目指す姿 高齢者が元気で生きがいをもち、安心した生活を送っています

現状と課題

【現状】  
 ・高齢者の多くが趣味や生きがいをもちて生活していますが、高齢者が持つ能力や技術が、住民同士の助け合いなどの地域活動に十分にいかされていない状況です。  
 ・ライフスタイルや価値観の変化などにより、老人クラブへの加入者が減少しています。  
 ・介護や福祉サービスの利用に関する相談や高齢者虐待が疑われる事例など、高齢者に関する相談件数が増加しています。  
 ・要介護等認定者や認知症高齢者の増加により、介護サービスに係る経費が増加しています。  
 ・少子高齢化により、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が増え、家族や親族等による支援が難しくなっています。  
 ・地域の助け合いである「地域における生活支援」について、住民ボランティア団体の立ち上げの支援などにより、取組団体数と利用者数いずれも増加しましたが、取組への理解や活動のリーダー、住民ボランティアの担い手不足等から、市全域での取組に至っていません。  
 ・特別養護老人ホームや認知症高齢者グループホームへの入所(居)待機が生じています。

【課題】  
 ・高齢者が地域福祉活動へ参画することにより、生きがいを得られる場づくりや取組への支援が必要です。  
 ・老人クラブに関するアンケート調査から把握された意識や要望などを踏まえ、活動継続のために必要な取組を老人クラブ会員とともに検討し、支援していくことが重要です。  
 ・介護サービスを適切に提供するため、高齢者虐待に関する相談などに対応するために、専門的在宅医療・介護関係者などとの連携の強化が必要です。  
 ・介護サービス費などの抑制を図るために、介護予防の充実や認知症の早期発見、早期治療につなぐためのさらなる体制づくりが必要です。  
 ・家族等による支援をなるべく長く必要としないために、高齢者自身が主体的に介護予防等に取り組む「通いの場」の活動促進や、健康増進や介護予防の情報提供の機会として湯のまちホット交流事業を活用することが必要です。  
 ・「地域における生活支援」の更なる取組拡大に向け、取組の利点やポイントを普及啓発するとともに、住民ボランティアの担い手やボランティア組織のリーダーとなる人材の育成支援が必要で  
 ・質の高い介護サービスを安定して提供するためには、介護人材確保などの取組が必要です。

前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性

・R3年度も認知症グループホームの整備を予定していることから、計画どおりに整備を進めるために、整備を行う事業所と綿密に連携を図る

・老人クラブの活動継続に向け、R3年中に「通いの場」や湯のまちホット交流サービス事業温泉施設、HP等を活用して老人クラブのイメージ、入会に対する意向とその理由、入会につながる老人クラブのあり方(活動等)等についてアンケート調査を実施する。  
 ・介護の職場の魅力を知り、中学生や高校生を対象に介護のお仕事セミナーを行うとともに、併せてセミナーでの紹介やリーフレット、HPにより介護人材確保事業の周知を図る。

反映状況

・認知症高齢者グループホームの整備について、2回の公募を行う中で、整備の意向のある事業者があったが、土地の確保がかなわず、整備に至らなかった。  
 ・老人クラブ活動の継続に向けた支援の一環としてアンケート及び老人クラブとの意見交換会を実施した。  
 ・中学生及び高校生を対象に介護のお仕事セミナーを開催するとともに、セミナーや広報、HPにて介護人材確保事業の周知を図った。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

- 高齢者の社会参加の推進  
 地域における生活支援の担い手となる組織の支援 ・地域課題の解決に繋がる高齢者就労事業立ち上げへの補助  
 老人クラブの活動継続に向け必要な取組の検討と実施老人クラブ組織のあり方の検討 ・老人クラブ活動の継続に向けた支援の一環としてアンケート及び老人クラブとの意見交換会を実施
- 高齢者の包括的な支援の充実  
 相談体制の充実 ・地域包括支援センター業務の委託による実施  
 高齢者の保護・措置の適切な実施 ・養護老人ホームへの措置、高齢者虐待への対応  
 高齢者の権利擁護支援として、法人後見や市長申立による利用支援をはじめとする成年後見制度の利用促進 ・認知症高齢者などに対する成年後見制度の利用支援  
 高齢者の生活支援の推進 ・在宅生活支援事業の実施
- 高齢者の健康づくりの推進  
 通いの場の活動促進、湯のまちホット交流事業等への定期的な介護予防情報提供など、高齢者自身による健康増進や介護予防の取組の充実 ・通いの場活動継続支援、湯のまちホット交流事業利用者への介護予防チラシ配布  
 認知症の早期発見・早期治療の推進 ・認知症サポーター養成講座の実施、認知症見守り・声かけ訓練の実施
- 介護サービスの充実  
 介護サービス施設の計画的な整備 ・認知症高齢者グループホーム運営事業者の公募  
 運営組織の拡大と対象者の適正利用による地域支援事業の充実 ・地域ボランティア団体立上げへの支援、生活支援ボランティアの養成  
 介護サービスの質的向上 ・介護サービス施設の運営推進会議を通じての指導助言  
 介護人材確保への支援 ・介護のお仕事セミナーの開催、奨学金返還補助 ・介護人材確保のための更なる具体的な施策検討のためのアンケートを実施
- 在宅医療介護の連携推進  
 在宅生活を支える医療・介護関係者の連携推進 ・在宅医療・介護連携に向けた課題の協議試行

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	区分	H30	H31	R02	R03	R04	R05
生きがいを 持って暮ら している高 齢者の割合	生きがいをもちて暮らしている高 齢者の割合を示す指標	出典：市民アンケート あなたは、生きがいをもちて暮ら していると思いますか？ (1)そう思う (2)どちらかとい うとそう思う (3)どちらかとい うとそう思わない (4)そう思わ ない (5)どちらともいえない (1)(2)と答えた65歳以上の市民の 割合	%	目標値	81.10	82.40	78.40	78.90	79.40	79.90
				実績値	77.40	73.80	71.90	63.00		
高齢者が必 要な時に必 要なサービ スを受けて いると感じ る市民の割 合	高齢者が必要な時に必要なサービ スを受けていると感じる市民の割 合を示す指標	出典：市民アンケート あなたも含めて身近な高齢者が、必 要なときに必要な介護保険や高齢福祉サ ービスを受けていると思いますか？ (1)受けていると思う (2)ある程度は 受けていると思う (3)受けていない と思う (4)どちらともいえない (5)わ からない (1)(2)と答えた市民の割合	%	目標値	76.50	77.70	72.50	73.00	73.50	74.00
				実績値	67.40	68.60	67.70	65.20		
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
D	<p>成果指標「生きがいを持って暮らしている高齢者の割合」…【達成度C】  「そう思う」「どちらかというそう思う」を合わせて前年度より8.8%減少しているが、新型コロナウイルス感染防止のための外出の自粛や人との交流の減少が影響していると思われる。</p> <p>成果指標「高齢者が必要な時に必要なサービスを受けていると感じる市民の割合」…【達成度C】  「受けていると思う」または「ある程度は受けていると思う」と回答した人の割合は、前年度より2.5%減少している。高齢者福祉サービスを受給する可能性がある65歳以上と64歳以下に分けてみた場合、64歳以下では前年度より0.7%の増加でほぼ変わっていないのに対し、65歳以上では7.0%減少している。かわりに、65歳以上では「わからない」と回答した割合が5.2%、「どちらともいえない」が2.9%増加している。これについても、新型コロナウイルス感染防止のための外出の自粛や人との交流が減少したことにより、自分以外の人の状況についての情報を得る機会が減っていることが影響していると思われる。</p>

4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
なし
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
<ul style="list-style-type: none"> <li>・（高齢者福祉サービス基盤整備事業）認知症高齢者グループホームの整備について、整備の意向があった事業者があったが、土地の確保がかなわず整備に至らなかったことから、計画どおりに整備を進める必要がある。</li> <li>・（高齢者社会参加活動支援事業）地域を基盤とする高齢者の自主的な活動団体である老人クラブは、社会参加活動推進のための重要な団体であることから、今後も継続的な支援が必要である。</li> <li>・（介護人材確保事業）介護人材の不足が解消されていないことから、引き続き事業の周知を図る必要がある。</li> </ul>
新たに取り組むべき事業はないか
なし

5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設入所待機者の解消を図るため、施設整備を着実に進める必要がある。</li> <li>・老人クラブ数、加入者数ともに減少傾向にあり、老人クラブの維持存続を支援する必要がある。</li> <li>・市内の介護保険事業所運営法人のうち職員が不足している法人が65%にのぼっていることから、介護人材の確保に努める必要がある。</li> </ul>
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症高齢者グループホームを整備するため、市内の介護保険事業所運営法人に対して公募について周知するとともに、応募をはたらきかける。</li> <li>・老人クラブとの意見交換を継続し、維持存続に向けた課題の解決を支援する。</li> <li>・更なる介護人材確保の取組を行うため、市内の介護保険事業所運営法人より、介護職員の採用及び退職の実態、法人が行政に望む支援等を聴取し、具体的な施策を検討する。</li> </ul>

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名	担当課	施策への貢献度		
	事業内容(活動実績)		対象	意図	成果
			直結度		
010	<b>高齢者在宅生活支援事業費</b>	長寿福祉	間接・少数	直結	-
	高齢者福祉タクシー券給付事業や軽度生活援助事業(草刈り、除雪等)等、サービスが必要な高齢者へ、必要に応じたサービスの提供を実施(高齢者福祉タクシー券利用者数1,599人)				
020	<b>高齢者介護予防対策事業費</b>	長寿福祉	一致	直結	B
	高齢者の心身の健康増進と交流の促進、介護予防のために「湯のまちホット交流サービス事業」を実施。利用対象を60歳以上の個人とし、温泉等への入浴と交流の場を提供(延べ利用者数33,625人)				
030	<b>高齢者福祉サービス提供事業費</b>	長寿福祉	間接・少数	間接・補完	-
	生計困難者に介護保険サービスを提供するため、介護サービス事業者への助成を通じ、利用者負担の軽減を行う(社会福祉法人における軽減対象者数20人)				
040	<b>高齢者福祉サービス基盤整備事業費</b>	長寿福祉	間接・少数	間接・補完	C
	高齢者福祉サービス施設等の整備促進のため、社会福祉法人等に対し施設整備に係る経費等を補助(特別養護老人ホーム等施設入所定員1,639人)				
050	<b>高齢者交流活動支援事業費</b>	長寿福祉	一致	間接・補完	B
	高齢者の閉じこもり防止・交流促進のため、誰もが気軽に参加できる「ふれあい・あんしん交流」の場に対して支援を行う(サロン設置数237団体)				
060	<b>高齢者社会参加活動支援事業費</b>	長寿福祉	一致	間接・補完	C
	高齢者の健康維持、生きがいづくり、友愛活動、社会貢献活動等を実践する老人クラブの活動及び高齢者の活躍・生きがいの場の創出を支援するための補助(市内老人クラブ数100クラブ、老人クラブ会員数3,686人)				
070	<b>高齢者保護措置事業費</b>	長寿福祉	間接・少数	直結	-
	経済的、環境的要因等により居宅での生活が困難な高齢者を養護老人ホームなどへ入所措置し養護する(養護老人ホームはなまき荘入所者数40人)				
080	<b>介護人材確保事業費</b>	長寿福祉	間接・少数	間接・補完	C
	介護サービス事業所等で働く人材の確保と定着を図るため、市奨学金の貸与を受けて資格を取得し、市内の介護サービス事業所へ就職しようとする方の奨学金返還の一部を補助(利用者1人)				
100	<b>在宅医療介護連携推進事業</b>	長寿福祉課	間接・少数	間接・補完	-
	在宅医療と介護サービスを切れ目なく継続的に提供するため、医療機関と介護サービス事業所など関係者との情報共有や協議を重ねていく中で連携を推進(在宅医療介護連携推進会議7回開催)				
110	<b>地域介護予防活動支援事業</b>	長寿福祉課	一致	直結	B
	市内全域に、高齢者が容易に通える範囲に「通いの場」を展開し、住民主体で体操等を行うことにより、生活機能の向上や介護予防につながる取組を支援(「通いの場」取組団体数112団体)				
120	<b>生活支援体制整備事業(総合事業)</b>	長寿福祉課	一致	直結	-
	生活支援の担い手となる住民ボランティアの養成及び地域団体が総合事業の生活支援事業を行う場合の事業立上げへの補助(ボランティア養成28人、地域立上げ0団体、ご近所サポーター事業実施件数1,567件)				